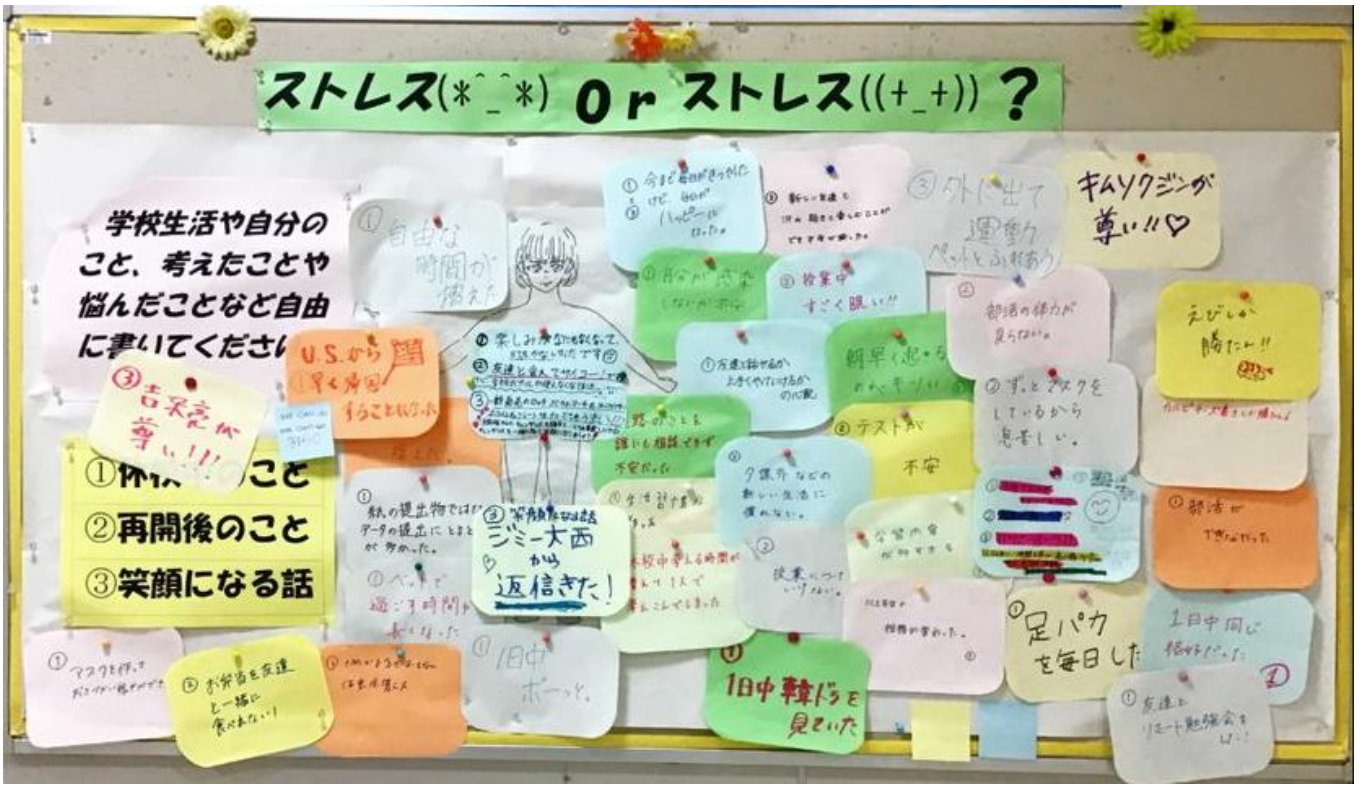
必由通信 “相談室編!(^^)!”

2020. 8月
教育支援部

休校期間中に“考えていたこと”とは・・・

３年生が話してくれました。「休校期間中、考える時間が増えた分、悩みが深まりました。」と。
将棋の藤井聡太さんのように自分自身を見つめ直す機会になった人もいれば、誰にも相談できず不安な日々を過ごしていた人もいたのですね。もしかしたら、多くの人がそうだったかもしれません。
休校中の時間が、みなさん一人一人にとって、どのような時間だったのか、学校が再開して、どんな気持ちでいるのか、知りたい思いと心の中の声を吐き出してほしいという願いから、健康教室前に掲示板を作りました。
書いてくれる人、読んでくれる人、お題を提供してくれる人、みなさんの反応が楽しみでたまりません(^^)
２学期も引き続きやっていきます。夏休みの様子もいろいろ教えてください。アイデアもお待ちしています！



【幸せを運んで来たの！？】

１学期の終わりに１羽のチョウが健康教室に舞い込んできました。気づいた掃除の生徒に“モンシロチョウ”だね！と言うと、「先生、羽は黄色ですよ」と。
残念ながら、数日後ベッドの下に横たわっている姿を発見しましたが、驚くことに数日後に見事復活！！
生物の渡辺先生がていねいに『羽の鱗粉（りんぷん）』を取り、ステキなしおりを作ってくださいました。
現在、標本も制作中です。
季節によって、黄色の割合が変化する蝶なのだそうです。

～周りも自分も笑顔になあれ～

夏休みの後半、3年生のHさんが大変身！
長い間、伸ばして手入れをしてきた美しい髪の毛をバッサリと切っていました。
みなさんは、「ヘアドネーション」という言葉を知っていますか？病気などで髪を失ってしまった方に自分の髪を提供する活動です。
髪を切ることを決めてから、保護者のアドバイスを受けて、自分の髪を役立ててくれたそうです。
なんと、素晴らしいことでしょう！一方的な援助や奉仕ではない“温かい気持ち”が新しい髪型の下の笑顔から感じ取れました。見習っていきたいです。